

	発行者の略号	東書	開隆堂
	書名	NEW HORIZON	Sunshine
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	日本で英語を学ぶ全ての生徒たちが、英語を通して他者とつながる「体験」を積み上げ、積極的に世界とつながろうとする「心」を育むことを願い、～「誰一人取り残さない英語教育」をめざして～をテーマに編集されており、「生徒が自ら学びたくなる教科書」として工夫がされている。	「生きたコミュニケーション能力が身につく、自己肯定感を育む」「確かな学力が身につく」「『地球市民』としての豊かな感性を育む」の3つの基本方針を設定して編集されている。
	（7）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①単元ごとに、単元末のゴールが設定されており、それに向かって言語活動を積み上げて、スモールステップで確かな英語力が育成できるような工夫がされている。 ②単元のまとまりを重視したUnitの学習の流れの中で、前半は単元のゴールの活動を確認して見通しを持って学習を始める間いと出会うという工夫がされており、各ページ短めの本文で題材を扱っている。Unit Activity では生徒は「目的、場所、状況」を意識しながら、各パートで表現したことをいかにして自己表現に取り組む構成になっている。 ③学年のテーマを明確にして、生徒の段階的な成長を実現できるように工夫がされている。生徒にとっては、学習の目標やめざす姿が明確になり、見通しを持って授業に取り組むことができるような構成がされている。	①各単元の Scenes ではマンガ形式で新出表現が提示されており、どのような目的・場面・状況で使われるのかを視覚的に理解することができるよう工夫されている。 ②各単元の本文で多種多様な題材についての英文を読むことで、思考力や判断力が身につくようになっていく。本文読了後のリテリング活動や単元末の Action では、自分の言葉で表現することや、テーマに沿って自己表現することが求められ、いずれも思考力・判断力・表現力等が育成できるように工夫されている。 ③各単元のとびらで学習の見通しを立て、各コーナーで自己評価を重ねることを通して、自分の学習を調整しやすい構成になっている。また学期末にOur Projectを置き、普段の学習がにつながるので学習意欲が向上し、活動後は自分の発表を振り返られるように構成されている。主体的に次の活動に向かう態度を養える工夫がある。
	（イ）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①小田原市教育振興基本計画の基本目標「多様性を認め、生かしていく教育のまちづくり」など、4つの側面に合致している。	①小田原市教育振興基本計画の基本目標「多様性を認め、生かしていく教育のまちづくり」など、4つの側面に合致している。
	（ウ）内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ○生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①各学年とも、教科書の冒頭に「学び方コーナー」が設けられており、英語学習のコツがまとめられている。また、二次元コードから解説を見ることができ、生徒が主体的に学習できるような工夫がなされている。 ②CLIL への対応として、現代的な諸課題に対応するものや、生態系、植物連鎖、俳句や日本語などの話題を取り上げ、他教科での学習を生かすものなどを扱っている。また道徳の学習指導要領の内容に関連した題材が取り上げられているなどの工夫がみられる。 ③帯活動としての small talk が教科書の巻末に紹介されており、デジタル教材で動画を見ることができるなど、充実している。 ④日本のポップ文化や、世界に広がる日本語について取り上げられ、世界が注目している日本を題材としてあつかうなどの工夫がなされている。 ⑤各学年6～7回掲載されている Real Life English において「聞く」「話す」「書く」活動ができるよう、日常生活での場면을題材に設定されている。 ⑥小中の接続はもちろん、中高接続の工夫もなされており、3年後半の Unit では、「Reading Tips」を取り上げ、高校へつながる読解力の養成やパラグラフの書き方について取り上げているコーナーが設けられている。 ⑦Real Life English の題材として、アナウンス案内や電車の乗り換え、買い物など、実際の日常生活で英語を理解し、使用する場面が設定されている。 ⑧「誰一人取り残さない英語教育」を実現するために、「拡大教科書」が発行されている。また、聾学校教員の要望を受けて、教師用指導書に英文にカタカナのルビが入ったプリントデータの用意がなされる予定がある。外国につながる生徒への対応として、デジタル教科書では、ポップアップ画面で使える Google 翻訳の利用ができる。	①それぞれの言語活動では、マッピングや文章の構成、簡単なディスカッションの進め方など、英語学習における重要な技能を系統的に扱い、主体的に学び発信する学習者を育成する工夫が施されている。 ②他教科との横断的な指導がしやすい題材を多く取り上げている。日本食などの身近な話題から、社会問題、平和や国際貢献に関する話題まで、社会科、技術・家庭科、道徳等テーマは多岐にわたっている。 ③毎授業の帯活動として取り組めるように各ページに Small Talk が設定されており、即興で話す力を鍛えるとともに、既習事項の定着も図れるようになっている。また、Our Project では、発表前に友達とアドバイスをし合うことで、協働的な学びの中で英語の正確性を上げられるように工夫されている。 ④日本の食文化や歴史的建造物について読んだり発信したりする活動を通して、日本や自分の郷土への知見を深め、愛する態度を養うことができる。 ⑤Power-Up では、リアルな場面設定で4技能5領域の能力を伸ばすことにつながり、単元末の表現活動では、相手意識・目的意識を持たせるものになっている。また、Reading 教材では視覚的に読解をサポートする工夫や、スモールステップで読解から自己表現までを行える工夫が施されている。 ⑥各単元の Scenes では、小学校と同じプロセスで新出表現を学ぶことができ、小学校の既習語彙は新出単語とは区別して表示されているため分かりやすい。また、段階的に読む量を増やすことで、高校入試への対策や、中学卒業後の英語学習につなげられるよう配慮されている。 ⑦空港でフライト遅延に関するアナウンスから必要な情報を聞き取る、校外活動に関するメモを見ながら持ち物を考える、ポスターの情報をもとに自分の予定を立てる、などの活動を通して、目的・場面・状況に応じて必要な情報を判断し、自分の考えを表現する力を養うことができる。 ⑧言語材料は基礎・基本事項が精選され、易から難へ配列されており、4技能5領域の活動を通じて身につけられるように工夫されている。また、各単元の新出表現を扱っている Scenes では、ターゲットとなる表現は赤字で表記され、誰にとっても見やすい工夫がされている。
（イ）分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①Let's read は読みごたえがあり、分量としては多めな感じはあるが、配分も含めて概ね無理なく進められる程度に設定されている。 ②A4サイズが採用され、ページ数減となっている。色覚特性に適應するようにデザインされている。文字は書き文字との差異が少ない書体、ユニバーサルデザインフォントが採用され、軽量な紙の採用、環境に配慮した再生紙、植物油インキが使われている。 ③文字習得に負担がないように開発した、より手書きに近いユニバーサルデザイン書体を主に1年で使用している。4線は文字の書きやすさに配慮して第2線と第3線の間の幅がやや広げられている。	①分量と配分は、余裕をもって進められる程度に設定されている。 ②体裁はA4版が採用され、環境にやさしい用紙やインキが使用されており、さらに本部用紙には軽い素材を採用して重さにも配慮されている。 ③行間にゆとりがあり、文章が読みやすい。またイラストや写真が効果的に掲載されている。	
（イ） 教科・種目別の観点	①「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	①「生徒が「伝えたい！」と思えるように、実生活に即した場面設定がなされている、小単元「Real Life English」が設けられ、「聞くこと」、「やり取り」、「書くこと」の各領域に特化した活動を行い、「目的・場面・状況」に合わせたコミュニケーション能力を伸ばす工夫がされている。	①「地球市民」としての豊かな感性を育む題材が、幅広い分野で充実しており、実践的なコミュニケーションに役立つ知識を取り入れ、表現することができるようになっている。Power-Up や Action、Our Project では、目的・場面・状況を大切に言語活動を行うことができ、多くの生徒が苦手とする「即興性」を無理なく養える配慮がなされている。
	②小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	②小学校の外国語の授業で扱われている語彙 630 語が「小学校の単語」として紹介されており、小学校で聞いたことがある単語を中心にして、中学校の学習をスタートすることができる配慮がなされている。また、小学校で触れたテーマを中学校の英語の教科書で扱い、生徒のより深い思考を促すといった工夫がなされている。	②新出表現は小学校と同じプロセスで学ぶことができるようになっており、小学校で慣れ親しんだ活動をスムーズに中学校へと接続できるようになっている。1年巻頭の Get Ready では、全6時間で小学校の学習を振り返ることができる。また、3年間を通して、小学校の既習事項が一目で分かるように工夫されている。
	③国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などを、生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	③「未来を担う地球市民を育成」をテーマに、海外との国際交流で伝え合うよこびを体験する教材や多様な文化や価値観への気づきを促す「ダイバーシティメモ」、SDGsを自分事として考える題材など、様々な話題を通して生徒が積極的に世界とつながろうとする「心」を育む教材が豊富に掲載されている。	③3学年を通して、単元の題材は外国の文化、生活習慣のみならず、多くの生徒にとって身近な日本の文化もバランスよく取り入れられており、その種類は多岐にわたる。教科書の登場人物は、性別による偏りがないように配慮しており、出身地域や人種、身体的特徴などについても多様性が見られる。
学習者用デジタル教科書は、使いやすい工夫や配慮がなされているか。	学習者用では、全ての二次元コードのコンテンツが収録されており、教科書の本文や語句の音声はスピードや再生方法を変えながら聞くことができたり、学習者が書き込みをすることができたりする工夫がなされている。また、本文では日本語訳表示やマスク表示の機能がついていたり、解説動画やアニメ動画でも字幕の有無が選択できたり、スモールステップで言語材料に触れる工夫がなされている。	本文読み上げ機能、リフロー画面読み上げ機能、白黒反転や総ルビ表示など、生徒の多様なニーズに応じて学習者支援機能をカスタマイズできる。画面上のアイコンをタップするだけで、教科書の二次元コードに搭載している音声や動画をいつでも視聴できるようになっている。	

	発行者の略号	三省堂	教出
	書名	NEW CROWN	ONE WORLD
(ア) 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	教育基本法の理念に基づき、4つの力(「ことばを使う力」「考える力」「人や文化などとかかわる力」「学びに向かう力)を育成することを目指して編集されており、工夫されている。	英語を楽しく主体的に学ぶこと、物事について深く考えること、自分の考えを伝え合うこと—これらが実現できる教科書の構成になっている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①各 Lesson の Part1～3 の練習活動では、知識及び技能の習得を中心としたものをスパイラルに学習でき、基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されている。 ②Take Action、Project では、多様な題材や言語活動を通して、深い学びにつながる課題を設定し、生徒が主体的に考えや気持ちを表現できるようにし、活動の中で既習事項を駆使して思考力・判断力・表現力等を働かせ、ペアワークやグループワークをしながら対話的に学び合うことができるよう工夫されている。 ③Small Talk では各 Lesson のテーマやトピックに関連した会話を行うことで、そのあとの学習への動機づけをしており、学ぶ意欲を喚起し、学びに向かう力が育成されるように工夫されている。また、コミュニケーション活動の終わりにその取り組みをふり返ることで、主体的に学びに関わり、学習の自己調整の力を育てることができるように工夫されている。	①各パートで学習した文法事項を Lesson 末の How to Use で丁寧に解説している。また、その基本文を含む対話を Let's Use として掲載し、部分入れ替えて対話練習する機会を設けている。 ②Think and Try では、やり取りを通して、本文で input した内容を無理なく output できる仕組みになっている。また、年間3回設けられている Project では4技能5領域を統合的に活用できる活動が設けられている。 ③How to Study では、自主的な学習を行うためのアドバイスが掲載されており、巻末の「分野別用語集」では自己表現活動に役立つ語彙を確認することができる。また、各 Lesson の Goal や指示文で言語の働きと使用場面を明確に示しており、多様な働きと場面を扱うことで、言語活動を通して、実際のコミュニケーションにおける言語材料の意味や適切な使用場面が体験的に理解でき、生徒の「思考力・判断力・表現力等」の育成に資するように工夫されている。
	(イ) 市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①小田原市教育振興基本計画の基本目標「多様性を認め、生かしていく教育のまちづくり」など、4つの側面に合致している。	①小田原市教育振興基本計画の基本目標「多様性を認め、生かしていく教育のまちづくり」など、4つの側面に合致している。
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ○生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①各 Lesson では、身の回りのことや社会的なことなどの題材をとおして深い学びにつながる課題を設定し、生徒が主体的に考えや気持ちを表現できるように工夫しており、それぞれの活動では、既習事項を駆使して思考力・判断力・表現力等を働かせ、ペアワークやグループワークをしながら対話的に学び合えるよう工夫されている。 ②社会科、理科、技術・家庭科などに関連する題材や歌など、他教科との関連をもたせており、CLIL や ESD の考え方に基づく学習に発展させることができるよう工夫されている。 ③外国の生活や文化と、自国の伝統や文化をより深く理解する豊富な題材と5領域(聞くこと・読むこと・話すこと[やり取り]・話すこと[発表]・書くこと)のさまざまなコミュニケーション活動を通して、ことばを使う力を育むことができるよう活動が配置されており、工夫されている。 ④題材は、日本および他国の文化、自然、環境、防災など、幅広く取り上げられ、伝統文化など日本のよさを発見し、それらを発信する単元や、外国の文化を学び尊重する心を育む単元が配置されている。 ⑤各 Lesson では、深い学びにつながる課題を設定し、生徒が主体的に自分の考えや気持ちを表現できるようにしており、活動の中で既習事項を駆使してペアワークやグループワークをとおして自分のこととして英語を使うことができるようになっており、工夫されている。 ⑥1年生の前半で、小学校で学習した内容を復習したり、身につけた力を確認したりすることで、小学校での学びと中学校での学びを円滑に連携することができるよう工夫されている。また、高校で求められる理解力や表現力の基礎を身につけるために、語彙を増やしたり、体系的に文法事項を理解したり、勉強の仕方を学んだりすることができるよう、本書内及び二次元コードにさまざまな資料が配置されている。 ⑦Take Action の Listen では、必要な情報を得るために英語を聞いて要点を把握したり、Talk では生徒が A 役、B 役に分かれてロールプレイを行うシートがあったりするなど工夫されている。 ⑧学習要素が定位置にあり、それぞれにねらいが明確な紙面構成、わかりやすい活動の内容と指示文など、どの生徒にも学習上の支障がないように配慮されている。	①奇数 Lesson 後に設けられている Activity Plus では、既習の言語材料を活用したペアでの対話活動を促し、「即興的なやり取り」の力を伸ばす工夫がある。 ②SDGs や環境・エネルギー問題、職場体験、卒業後の進路など、他教科との関連性のある題材やカリキュラムと連携した話題が扱われている。 ③Task では、当該 Lesson の本文を振り返り、「話す・書く」活動を通じて、自分の考えなどをクラスメイトと発表・共有する活動をすることで、言語能力の定着を図る工夫がなされている。Grammar では、文法解説のほかに、そこで扱った文法事項を含んだやり取り例を掲載し、例を参考にアレンジしながら、新出の英文法に慣れる練習ができ、工夫されている。 ④外国の学校と日本の学校との違い、落語、ホームステイなど、多様な文化を学ぶことができる題材が扱われている。ジェスチャーや手話を扱う Lesson では、同じジェスチャーでも日本と海外では違う意味があることに触れ、生徒が興味・関心を持てるような内容に工夫されている。 ⑤年3回設定されている Project では CM を作って発表する、相手の相談に乗ってアドバイスをする、ディベートなど体験的な活動が設けられている。 ⑥Tips for Listening/ Reading/ Speaking/ Writing で、さまざまなコツを習得することで、高校入試や高校入学後にも役立つ基礎を身につけることができる。 ⑦ Tips for Listening/ Reading/ Speaking/ Writing では、アナウンスやポスターから必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりする活動が設定されている。 ⑧学習シートや活動用ワークシートが充実しており、学んだことの確認や言語活動の手助けになっている。また、各 Lesson 間のコーナーの内容や活動内容を示すアイコンは、アイコンで活動内容を明示し、活動の内容や養う技能が文字だけでなく形や色で判別できるよう工夫されている。
(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①分量と配分は、多めで、読み応えのある文を掲載している。 ②体裁は A4 版で、「カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています。」「環境にやさしい用紙と植物油インキを使用しています。」と表記されている。 ③イラストや写真を大きく扱って見やすく構成しており、1年生ではまねて書きやすいフォントが、2、3年生では読みやすいフォントが、いずれもユニバーサルデザインに配慮したフォントが使用されていて、生徒の理解を促進するものになっている。	①分量や配分は、無理のない程度に設定されている。 ②色の識別がしやすいカラーユニバーサルデザインに基づく配色が用いられている。挿絵や写真、活動のアイコンなどもたくさん掲載されており、生徒の理解を深める一助となっている。 ③ユニバーサルデザインの、生徒の発達段階に応じた書体を採用している。挿絵・図版・写真は、生徒の学習意欲を高めるもの、文章の理解を助ける資料性の高いものや、作品世界を活かし、生徒の想像力を高めるイメージ豊かなものを掲載しており、工夫されている。	
(イ) 教科・種目別の観点	①「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	①Goal Activity では Lesson に関連したテーマについて、目的や場面、状況に応じて、メモなどをもとにまとまりのある内容を話したり書いたりする活動や、概要や要点を読んで考えたことをまとめたりする活動があり、工夫されている。また、Take Action では、リスニングで必要な情報を聞き取ったり、スキットを参考に会話したりロールプレイを行うなど、目的や場面、状況に応じて聞く力や、即興で伝えあう力を養うための工夫がなされている。	①音声を開き、内容理解を深め、音読練習したことを用いた言語活動(Think & Try)や学習した題材を基に、自分の考えをメモし、スピーチ・やり取りなどをする Task が設定されている。各学年に3回設定されている Project では、スピーチやディベートをするためのメモやマッピングの書き方などが例示されており、自由度の高い活動でも生徒が取り組みやすいように工夫されている。
	②小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	②1年の Starter から Lesson1～4では、小学校の語句や表現を使ったゲームで音や文字を確認して小学校での学びを振り返るとともに、聞くこと・話すことの活動をとおして小学校での学びを整理し、読むことに慣れ、書くことの活動を継続的に行うなど、小学校での学びを生かし、中学校での学びにスムーズに接続するための工夫がなされている。	②1年生の早期段階に小学校で学習した表現や文型、文法項目を再び扱うように作られており、小学校で習った語彙に関しては、アイコンで表示されており、見てすぐわかる工夫がなされている。また、アルファベットを扱うページを増やし、文字の学習における生徒のつまずきに対応しており、工夫されている。
	③国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などを、生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	③題材は、日本および他国の文化、自然、環境、防災など、幅広く取り上げられており、伝統文化など日本のよさを発見し、それらを発信する単元や、外国の文化を学び尊重する心を育む単元が配置されている。さらに、題材や挿絵に登場する人物などについて、性別による偏りがないように配慮しており、出身地域や人種、身体的特徴などについても、多様性が見られる。	③外国の学校との違い、SDGs、環境・エネルギー問題、ジェスチャーや手話などを扱っている。取り上げる題材や本文内の表現、登場人物やイラストなどについて、性別や身体的特徴、文化の多様性について配慮されている。身体的な障がいについては、障がいの存在だけでなく、盲導犬、聴導犬、手話など、それをフォローする方法について学ぶことができるなど詳細に学べるよう工夫されている。
学習者用デジタル教科書は、使いやすい工夫や配慮がなされているか。	練習活動、コミュニケーション活動、異文化理解の資料などに音声や映像を使った教材が用意されており、授業で多様な指導をすることができる。また、二次元コードを利用して生徒が個別に音声や動画、発音のチェックや辞書機能などの情報にアクセスことができ、自学自習や家庭学習などの多様な学びにつなげることができる。画面は直感的で使いやすく、学びやすい工夫や配慮が見られる。	教科書本文や語彙の音声収録されているだけではなく、音声認識機能で、自分の発した英語が文字として表示され、正しい発音を身に付けることができる機能や、文法の解説動画の視聴、ワークシートのダウンロードなど、家庭学習にも対応している。	

	発行者の略号	光村	啓林館
	書名	Here We Go!	BLUE SKY
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	子どもたちが、外国語を学ぶことで広がる世界を楽しみ、自信をもって新たな一歩をふみ出し、間違いを恐れずに世界の人とコミュニケーションを図れるよう、「確かな英語の力を育む」「自律的学習者を育成する」「学びを、社会生活や未来につなぐ」という3つのことを基底において編集されている。	「確かな英語力を育成する教科書」「生徒の興味・関心と現代の諸課題に対応する教科書」「指導と評価の一体化を実現する教科書」「ICT を効果的に活用できる教科書」を基本方針とし、世界の人々とのコミュニケーションや相互理解を深める資質・能力を培えるように工夫されている。
	（7）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①「聞く」「読む」「話す」「書く」それぞれの技能を活用できるように、5領域のバランスや、「聞いたことを書く」「読んで感じたことをもとに話す」など活動の一貫性が考慮されている。また、文構造や文法等の知識が丁寧に整理され、デジタルコンテンツで確認することもできる。 ②言語活動では、コミュニケーションの目的・場面・状況を明示しており、身につけた知識・技能を活用して表現活動につなげる工夫がなされている。 ③海外の中学校の生活についての意見を読んで意見を伝えたり、外国語学習についての投稿文を読んで自分の意見を伝えたりする活動を通じて、自ら学び、表現しようとする態度を育てる構成になっている。	①各 Unit では、本文でターゲット文の使い方や意味を理解し、本文下の Target で、文構造や文法が丁寧に説明されているので、系統的に整理して、知識の定着を図れるようになっている。 ②各 Unit の単元末にある Think や、各学年3か所に配置されている Project では、それまでに身につけた知識・技能を活用して取り組むことができ、思考力・判断力・表現力等の養成につながる。 ③各 Unit の初めには目標が明示され、学習者にとって学習の見通しが立てやすく、自律的に学習する態度を養える。また、言語活動では相手を意識したコミュニケーションが図れるような工夫がされている。
	（4）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①小田原市教育振興基本計画の基本目標「多様性を認め、生かしていく教育のまちづくり」など、4つの側面に合致している。	①小田原市教育振興基本計画の基本目標「多様性を認め、生かしていく教育のまちづくり」など、4つの側面に合致している。
	（ウ）内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①帯教材の Let's Talk! や Story Retelling に継続的に取り組むことで、実社会で役立つ即興力や自分の言葉で話す力が身につくよう工夫されている。 ②教科横断的な視点で教材が構成されている。また、環境問題や安全・防災、インクルーシブ教育、郷土や伝統文化などを題材として取り上げ、学校の教育活動や目標との連携が図れるようになっている。 ③学年、学期、単元で生徒が身につける資質・能力を明確にし、目標達成までのプロセスの「見える化」が図られている。そして、言語の使用場面がしっかりと設定され、意味を類推しやすい構成になっており、その後、文構造に着目させる流れが確立されている。 ④2年生の目標が「自分の町や地域、日本の文化などについて、聞いたり読んだりしたことをもとに伝え合うことができる。」と設定されており、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する題材の読み物などが配置されている。 ⑤Daily Life で、どの中学生にとっても、実生活において出会う可能性のある場面を想定し、活動を設定し、「注文」「道案内」など、各場面特有の英語表現を学ぶことができるよう工夫されている。また、Goal や You Can Do It! で、理解したことを表現につなげる言語活動が工夫されている。 ⑥高等学校以降への学びをスムーズにつなげるため Unit の Goal や You Can Do It! を中心に、図表の読み取りを含む問題やスピーキングテスト問題を用意し、高等学校以降も求められる思考力、判断力、表現力を養うよう工夫されている。 ⑦ラジオのニュースを聞いて必要な情報を捉える活動や、レストランでのやりとり、留守番電話を聞いて用件を把握し、返答するなど、実生活に即した場面や状況で情報を読んだり、聞いたりして理解する教材が多数設定されている。 ⑧ユニバーサルデザインの観点から、情報のまとまりが認識しやすいように、デザインを工夫し、5領域は生徒にも分かりやすいアイコンを付して示しており、工夫されている。	①生徒の興味・関心を引きつける題材や、今日の課題についての題材など、多様な題材を3年間で扱い、生徒の世界を広げながら、深い学びを実現できるように工夫されている。また、随所にペアワークやグループワークが設けられており、対話的な学びの中で理解を深める配慮がある。 ②多様な題材の中でも、体育祭、職場体験、修学旅行、郷土や伝統文化、防災といった話題では、他教科との連携が図りやすく、教科横断的な学習ができるように工夫されている。 ③全体として5領域の言語活動がバランスよく配置されており、特に Let's シリーズでは、実践的なコミュニケーション能力を育成できるようになっている。また、ペアワークやグループワークの機会が多く設けられており、対話的な学びの中で理解を深める工夫がある。 ④自国と郷土に対する理解を深め、愛する心を育てるために、日本や自分が住む地域の魅力を世界に発信する活動がある。 ⑤Project では、活動の目的・場面・状況が明示されており、技能統合型の言語活動を行えるよう工夫されている。Let's シリーズの場面設定は実際の場面に忠実であり、その場面特有の表現を学習できる配慮がなされている。 ⑥1年巻頭には、小学校での学習を振り返ることのできる教材がある。学校段階に応じた活動が設定されており、特に聞く・読む量は段階的に増えていくので、高校での学習にも対応できるようになっている。 ⑦Let's シリーズでは、留守番電話から必要な情報を聞き取る、ショッピングモールで自分の好みに合うものの買い方を学ぶ、買い物のトラブルの対応の仕方を学ぶ、などの活動を通して、目的・場面・状況に応じて必要な情報を判断し、自分の考えを表現する力を養うことができる。 ⑧「英語の学び方」では、英和辞典の引き方から英文を書くコツにわたるまで3年間を通して学習に役立てられるような情報が掲載されている。またデジタル教科書や拡大教科書が用意されているため、様々な学習形態に対応できるよう配慮が施されている。
（イ） 教科・種目別の観点	（エ）分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①分量と配分は無理のない程度に設定されている。 ②A4判で、製本は堅牢で、印刷は鮮明で読みやすく、特に色覚特性に対応するため、配色・色調に配慮されている。また、環境に負荷の少ない用紙、植物油インキを用いている。 ③日本語の表記は、読みやすいユニバーサルデザイン書体を使用し、小中接続期（Unit 1～3）のアルファベットについては、手書きに近いフォントを独自に開発して使用するなど工夫されている。	①分量と配分は、余裕をもって進められる程度に設定されている。 ②体裁は A4版と大きな判型が採用されており、カラーユニバーサルデザインへの配慮が成されている。またデジタル教科書においても、白黒反転や拡大、総ルビ表示などの機能を実装している。 ③文章が読みやすいように、行間や余白部分に配慮されている。UD フォントを使用しているため、多くの人にとって判読しやすい。またイラストや写真が効果的に掲載されている。
①「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	①基本本文の練習の Listen で、まとまりのある英文を聞かせ、「曖昧さに耐える」力をめざしたり、1年の前半は読ませることを急がず、目的に応じた読み方が身につくような設問やヒントを配置したりなど工夫されている。話すことについては各 Unit 等の“About You”の活動や、帯活動で扱うことを想定した Let's Talk! など、自分について話す活動を設定し、話す力を継続して伸ばしていけるように工夫されている。	①各 Unit では、生徒の興味・関心を喚起する題材を扱っており、文法・文構造や語彙の定着を図り、4技能5領域をバランスよく育成する構成となっている。また、Let's シリーズや Project では、目的・場面・状況が明確な言語活動となっており、実践的なコミュニケーション能力を育成できるように工夫されている。	
②小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	②1年 Let's Be Friends! では、小学校の学習内容を踏まえた、音声、動画、すごろくゲームなどが用意されている。また、「アルファベットの書き方動画」もあり、円滑な小中連携を行うことができる。Unit3 までは、読み書きの準備段階としてストーリーを楽しみながら、文字や文法に慣れていくことができるように構成されている。小学校で慣れ親しんだ語句に関しては、桜の花びらマークが印されており、指導者にとっても把握しやすい。さらに、小学校から継続して同じ人物が登場し、生徒たちが親しみを持って学ぶことができる。	②主に1年の教科書では、巻頭の Let's start で小学校での学習を振り返ることができるようになっている。小学校のうちに音声で慣れ親しんできた語彙は、新出語句とは区別して表示されており、語彙指導がやりやすいような配慮がなされている。また、1年の Unit1～5では、小学校で慣れ親しんだ表現を文法的に整理し、確かな定着を図れるようになっている。	
③国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などを、生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	③我が国の伝統文化や郷土を愛するとともに、他国に向けてそれらのよさを発信できる力を養う教材や、世界の多様な文化とそこに生きる人々についての知識を深め、男女の平等や多様性を尊重する態度を養い、よりよい社会の形成に主体的に参画する意識を養うための教材が、各学年に複数用意され、配慮されている。	③登場する人物の人種・性別・身体的特徴などは、極端な偏りが無いよう配慮されているため、多様性を認める態度を養成できるようになっている。また、国際理解を深める題材や言語活動が豊富であるため、他国を尊重する態度や国際社会の平和と発展に寄与する態度を養成できる工夫がある。	
学習者用デジタル教科書は、使いやすい工夫や配慮がなされているか。	実写ドラマでストーリーの細部まで動画で確認することができる。声や映像などのコンテンツに、紙面から直接アクセスできる便利さはもちろん、英語の語句や教材本文を示している箇所を読み上げには、ネイティブの音声収録され、再生速度を生徒それぞれに合わせて13段階から選ぶことができ、個別最適な学びにつなげることができ工夫されている。さらに、音声を吹き込むスピーキングテストが年3回ずつ用意されている。教科書の番外編となる Extra Story が収録されており、「もっと英語を聞きたい！学びたい！」という気持ちを高め、学びに向かう力を伸ばしている。	「超しおり機能」では、自分の考えを書き込み保存したページにしおりを付け、そのしおりをクラスメイトや教員に送ることで、書き込みすべての共有が可能になっている。この機能があることで、デジタル教科書を通じた対話的な学習が実現できる。また、音声再生速度調節機能や本文アニメーション映像の字幕オン・オフ機能等は様々な学習形態に配慮している。教科書本文の実写ドラマ動画もあり、学習意欲が高まる工夫がなされている。	